



練馬区体育協会ニュース

加盟 (財) 東京都体育協会

創立 昭和24年10月(1949)

第23号 (年4回発行)

発行 昭和58年8月1日



入場する練馬区選手団

第三十六回 東京都民体育大会

女子・史上初の総合第二位

陸上競技に男・女共優勝

第三十六回都民体育大会、春季大会は、五月二十二日、駒沢総合競技場に於て総合開会式が行われた。参加区郡市の代表選手、二五〇〇人の入場行進につづき、主催者挨拶、選手宣誓、優良団体、個人の表彰が行われた。

練馬区は、男子二十二種目に二十七名、女子七種目に七九名、計三〇六名の代表選手が参加した。男子では、陸上競技が優勝、弓道、ライフル射撃が四位入賞、テニス、水泳がベスト8に残り得点したものの、上位入賞を予想していた柔道が三回戦で敗れ、得点出来ず今年には総合十三位に終わった。

女子は、陸上競技の優勝、テニスが準優勝、スキー、軟式陸球とともに第三位と大きく得点し、練馬区体育協会、創立以来(三十六年)なしえなかった、総合第二位の大記録を達成した。
六月五日(日)岸記念体育館に於て閉会式が行われ、男、女優勝地区に高松宮殿下より、優勝杯が、都教育長より、総合八位までの各地区代表に賞状が授与された。
本日は、寺崎副理事長が代表して

女子総合第二位の賞状を受けた。

都体協・表彰

個人 佐々木光雄(サッカー)

区都市・得点

区都市	得点
1 大田区	一〇四、五
2 千代田区	八五、〇
3 世田谷区	八〇、三
4 板橋区	七八、八
5 渋谷区	七五、三
6 府中市	六六、五
7 江戸川区	六六、三
8 台東区	六五、三
13 練馬区	五三、五
陸上	13
弓道	8
ライフル	8
テニス	5.5
水泳	4
◎女子	
1 品川区	五二、五
2 練馬区	四六、〇
2 台東区	四五、〇
4 杉並区	三四、〇
5 大田区	三三、〇
6 墨田区	三一、五
7 千代田区	
7 文京区	

練馬種目別得点

陸上 13
 テニス 10
 軟式 10
 スキー 9

○公開種目

優勝 銃剣道
 二位 自転車
 六位 ローラースケート

練馬区の栄光の記録

昭和四四年 男子総合四位
 昭和五五年 男子総合七位
 昭和五六年 女子総合七位
 昭和五七年 男子総合八位
 昭和五八年 女子総合二位

参加種目の戦績

●陸上競技 五月二十二日

男・女とも総合優勝を飾る
 男子(入賞者)
 ○一〇〇米

1. 大石光宏 一一秒五
2. 宮野 朗 一一秒五
4. 四〇〇米
5. 定金整司 五一秒六

3. 大久保善輝 一二米一九
5. 加藤源八 一一米四二

1. 松本英敏 六米六八
6. 大崎 真 六米三二
4. 四〇〇米リレー 四三秒三

練馬区
 大崎・宮野・松本・大石
 女子(入賞者)
 ○一〇〇米

1. 徳本聡美 一三秒八
2. 和深由美 一四秒四

1. 佐久間札子 二分三三秒三
3. 秋山 直美 二分三七秒五

2. 本橋 郁子 四米六〇
4. 四〇〇米リレー

練馬区 五五秒四
 志田・徳本・園井・本橋

男・女とも総合優勝を一区が果たしたのは、都民大会三十六年の歴史の中で初めての大快挙である。

力のある選手にしばらく小教精鋭で偏成、全選手がその期待にこたえ持てる力を発揮したことが、優勝をもたらしたと言えよう。

中でも短距離は、一〇〇米で、男女共に一、二位を独占、四〇〇米リレーも男女共に優勝を飾った。

又、フィールドの活躍もすばらしく、中跳で男子が一、六位。女子二位。男子砲丸投で三、五位の好成績を収めた。女子は八〇〇米でも一、三位と入り、総合優勝を絶対なものにした。

女子は二位台東区を大きく引き離しての完璧のものであった。対する男子は、総合で大田区と同点となり、大会特別ルールの一位種目の数での決定にも込まれた。練馬の三種目に優勝がぎめ手となった。総合優勝となった。

(篠原庸雄)

●軟式野球 五月二十五日

上井草総合運動場

二回戦

清瀬市役所 8-5 練馬

張替通商

昨年のベスト16から、今年こそ、ベスト8にとチーム強化をはかりのぞんだが、投手陣が崩れ敗退した。(中村)

●空手競技 五月二十二日

駒沢体育館

二回戦

練馬 3-2 中央

三回戦

北 3-2 練馬

二回戦で、前年の優勝チーム中央区と対戦、これを敗ることが出来たのは、誇れる内容だと思いき。これは横瀬監督のメンバー組合せと採配の妙と言えよう。

対北区戦の敗因は、若手選手の経験不足から試合の雰囲気にもまれ上ついていたことがあげられる。来年こそ、ベスト8に残るよう、頑張りたいと思います。

(生沼 剛)

●弓道競技 五月二十二日

明治神宮 総調館弓道場

第四位、練馬区代表チーム

何年ぶりかで良い成績を収め、皆さんから喜んでもらいました。

強化練習も、選手が社会人のため任事のやりくりをしなからで全員が集めることは、むずかしいことでした。少い練習量をカバーしよく

頑張ってくれました。

新人も増加し、底辺も拡がって来ておるだけに、尚一層の努力をし更に上位進出を目標に頑張ります。

(広瀬 守)

●軟式陸球 五月二十二日

二十九日

男子、駒沢オリンピックコート
 女子、小平市営、上水コート

中央公園

男子

練馬 4-1 葛飾

渋谷 4-1 練馬

女子

練馬 3-0 新宿

練馬 2-0 葛飾

練馬 2-0 品川

二十九日が雨天のため中止となり、上位四チームで平均得点となる。

第二十六回大会に準優勝以来、更に十年振りで女子が準決勝に進出したことは誠に喜ばしいことでした。準決勝は途中で雨のため中止となったが、組合せ(大田区)からみると、決勝進出のチャンスは充分あったと思われました。

今回の女子チームは、ベテランと若手の組合せがうまくいき、実力的に同等の三組がそろったことと、数度の強化練習でまとまりが出来たことが、勝ち進んだ因と思われ。又区宮コートでの強化練習等に教育委員会と体協の側面からの援助に感謝申し上げます。

田口合金鑄造所

田口 留五郎

練馬区旭丘 2-44 TEL 957-1462

ラケットショップ

豊島区西池袋 1-19-6
 TEL (03) 988-0215

男子は、選手の過度期にあり、これからは若手を中心にレベルアップをはかり、来年に期待をよせたいと思っております。(舟崎和誠)

●サッカー競技

五月二十一日

駒沢第三競技場

一回戦

文京区5 (3:0) 1練馬区
2:1

今年度は、一回戦で文京区に敗れました。

来年は頑張ります。(本間弘二)

●硬式テニス競技

五月二十八日二十九日、三十日

秋川市、庭球場

男子(ベストエイト)

一回戦 シート

二回戦 練馬2-1府中

三回戦 練馬不戦勝清瀬

準々決勝中野2-1練馬

代表選手

鶴、半谷、遠藤、林、山部

女子(準優勝)

一回戦 シート

二回戦 練馬2-1 新宿

三回戦 練馬2-1 多摩

準々決勝 練馬2-1 国分寺

準決勝 練馬2-1 小平

決勝 府中2-1 練馬

代表選手

古山、小林、今井、菅田、藤森

後記 古川 みすず

二年連続決勝進出と言う、輝かしい成績にプレッシャーを感じつつ

秋川市へと向いました。

初回の対新宿戦の時は2-0とスタート楽勝でしたが、後の試合は全て1-1で迎え、最後のシングルスがポイントとなり、本場に苦しい内容でした。

三日目の準決勝も1-1から勝ち、毎試合とも終ってみると勝っていたと言うのが実感で、決勝戦まで進みました。

府中との決勝も1-1で最後のシングルスに望みをつなぎましたが、惜しくも敗れ、準優勝となりました。しかし、ここまで来られたのも選手一同の団結力、無我、無欲で臨んだ賜と思います。

私達に大きな応援を下さった、協会、体協、教育委員会の皆様によりお礼を申し上げます。

●バドミントン競技

五月二十九日

駒沢、屋内球技場

男子

一回戦

練馬 2-1 保谷

二回戦

江戸川2-1 練馬

女子

一回戦

練馬 3-0 田無

二回戦

葛飾 2-1 練馬

後記 村田 光二

前年の男・女一回戦敗退の汚名を返すべく、今年度は二度の公式

練習を行い、一致団結大会にのぞみました。

男・女とも一回戦に勝ち二回戦に駒を進めましたが、男子は、日本リーグのメンバーを含む江戸川区に、女子は三十才代の元全日本チャンピオンをよする葛飾区に敗れてしまいました。

男・女共壮年ペアは勝っておっただけに、若手の一ペアがもう少し頑張ればと悔いております。

今年も又、多くの方が応援に来て下さり、大変よいムードで参加出来たことを嬉しく思いました。

選手も区代表の自覚を持ち、精一杯、力を出したと思います。今後さらに努力し、来年は上位進出をねらいます。

●剣道競技

五月二十二日

品川区立総合体育館

一回戦

国立市 3-2 練馬区

先鋒ががまず二本取、幸先よいスタートを切ったが、次鋒に敗れ、中堅が頑張り二本、しかし副将が取られ2-2、勝負は大将戦となった。まず国立が面一本を先取し

これを追っての激しい戦いも、きめ手なく時間切れ、一本負けとなった。(松村幸男)

●卓球競技

五月二十九日

東京体育館

男子 一回戦

練馬 4-1 秋川市

二回戦

練馬 3-1 板橋

三回戦

新宿 3-2 練馬

女子 一回戦

田無市 3-2 練馬

男子は一回戦で秋川市を敗り、二回戦で隣同志や互に手の内をよく知っている板橋を降し三回戦に進んだ。前年優勝の新宿と大接戦、善戦健闘、刀折れ、矢つき惜敗した。

女子はシチズン時計で面めた田無と対戦、よく頑張ったが、あと一点に泣いた。ここ数年選手が変わらず、この壁を破るには若い選手の台頭がポイントと言えよう。

●アチエリー競技

五月二十九日

駒沢公園、第一球技場

第二十一位

試合当日は天候に恵まれず、午前中は時折激しい風雨となり、一般的にスコアも低調となったのは止むを得なかった。当区のチームは例年になく強化練習も積み、躍進を期しての出場が反って仇となり、力みすぎて調子を狂はせ、総合順位では第二十一位と昨年と同順位に終わったのは誠に残念でありました。

然し五十米競技に於いての陳選手の二七五点は、参加選手八十四

株式会社 吉田工務店

代表取締役 吉田 光 守

〒 176 練馬区春日町6-1-10

TEL 998-3156

名中高位の良い成績であった。

日頃の練習は、個人成績を念頭に置いたもので、このような団体戦では何といっても思のあったチームの和がないと、持てる力も発揮し得ないので、この点監督として技能のみでなくチーム内の意志の疎通を積極的にはかるべきであったと責任を痛感する次第であります。(嶺 宏)

●バレーボール競技

五月二十九日

男子(福生市民体育館)

練馬 0-2 豊島

(区代表は春日クラブ)

技術の差、練習不足を痛感しました。今後は、代表チームは充分な練習をつんで出場しなければなりません。と同時に練習の場の確保に関係者が配慮していただきたい。心よりお願い申し上げます。(和田正義)

女子(多摩スポーツ会館)

練馬 2-0 豊島

江東 2-0 練馬

(区代表は北町クラブ)

●駅伝競技

五月二十九日

大井周郎コース

第十三位

二時間四十二分二五秒

1区 江藤誠一郎

2区 是島喜代治

3区 赤坂章男

4区 土橋正勝

5区 吉田輝彦

6区 安部武良

●クレール射撃競技

五月二十九日

SKB・成田射撃場

四十九区郡市参加

総合 第九位 練馬五

●柔道競技

警視庁・武道館

五月二十九日

一回戦

練馬 2-0 東久留米

二回戦

練馬 2-1 江戸川

三回戦

世田谷1-2 練馬

望月0 背負投 ×大川

小島0 合せ技 ×徳永

重松 優勢勝 ○河野

●ライフル射撃競技

朝霞オリンピック射場

五月二十九日

総合 第四位

ARP 60 木下裕司 五六八点

ARS 60 上村孝明 五五四点

SBP 60 柳沢義明 五八三点

第二位

AP 60 佐藤幸次郎五〇九点

SB 3 P 60 横山茂樹 五五四点

第四位

ARP 3 P 60 上村孝明 五五四点

第四位

都民大会の参加競技の中で、最も観客の少ないものではないかと

思われます。後で見ているものはほとんど選手ばかりでした。

今年の競技選手には可成の高得点を平常より出している者をそろえて、今年こそはと思っておりました。試合当日には他区の選手が集まる程の成績を出しておりましたが、一部の選手が不調であった事と二人の選手が急に出場出来なくなつて、他の者に変更した事などが、残念ながら、多くの種目で得点しながら、全体では4位にとどまってしまう。然しながら2位を2名を出す事が出来て、来年への希望を持つようになったのはよろこばしい事でありました。(徳山 靖)

●バスケット競技

女子

駒沢屋内球技場 五月二十二日

一回戦

多摩市 60-45 練馬区

男子

豊田区体育館 五月二十一日

夢の島体育館 五月二十二日

一回戦

練馬区 60-59 目黒区

二回戦

文京区 68-58 練馬区

●自転車競技

六月五日 立川競輪場

一〇〇〇米タイムトライアル

1 布施義憲

4 湯川 和

ミスアントアウトレース

1 布施義憲

2 山本力也

4 北見裕史

6 吉川 担

今年も新旧入れ替わりの時で、実用車の部がふるわなかった。しかし、二種目に優勝した布施選手が活躍が光った大会でした。将来を楽しみに育ててゆきたい。(白井 滋)

●ローラースケート競技

六月一日、二日、三日

後樂園ローラースケートリンク

一回戦

シート

二回戦

練馬 11-4 板橋

準々決勝

練馬 7-0 江東

準決勝

練馬 10-0 葛飾

決勝

練馬 7-2 目黒

●銃剣道競技

五月二十九日(日)

築地教育会館・体育場

予選リーグ(五地区)

1 練馬区

2 江東区

3 青梅市

4 台東区

5 東大和

決勝トーナメント

練馬 2-0 府中市

練馬 1-0 新宿

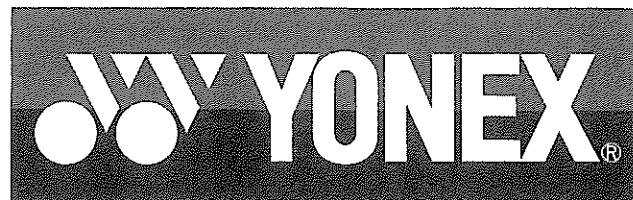
練馬 1-0 新宿

<p>西 貝 自 動 車 (株)</p> <p>西 貝 一 治</p> <p>練馬区中村南1-22-16 TEL 970-3611</p>	<p>株式会社 三 栄</p> <p>代表取締役 朝 日 祥</p> <p>練馬区桜台6-33-16 TEL 993-0221</p>
---	---



**WE
LOVE
YONEX**

青い空が好き、緑の風景が好き。
ヨネックスが好き。
こちらスポーツカントリー。



優勝 練馬区
準優勝 新宿区
三位 府中市

監督荒井浩市の引いる先鋒古閑選手、中堅石井選手、大将小池選手は、いづれも全日本選手権大会等で活躍するベテラン選手だけに第一回戦 練馬、江東、青梅、台東、東大和のリーグ戦を四戦全勝と他区を圧倒し決勝トーナメントへと進んだ。準決勝戦府中に2対0、決勝新宿戦では先鋒より大将までが引き分けという熱戦を展開大将による代表決定戦によりみごと三年連続優勝、通算十一回の偉業を達成した。

本大会で特に小池、石井両選手の好試合はこびに会場の絶賛をあげていた。
残念ながら銃剣道は公開種目であり得点に結びつかなかったが、区代表として三年連続優勝ができて何よりうれしく思うと同時に、一日も早く正式種目として参加できるように他区に呼びかけた。
(徳留清昭)



第三十六回練馬区民体育大会

体育の祭典・開幕
参加二十八団体・二万人



総合開会式

- 第三十六回区民体育大会、総合開会式は、七月十七日雨天のため、開場を中央グラウンド跡地より、開進第二中学体育館に移し開催された。
- 午前十時、参加二十八団体の代表五〇〇名が、開進二中吹奏楽団の演奏により入場した。
- 閉会宣言 朝倉社会体育課長
- 主催者挨拶 主権者挨拶 岩波教育長 大会会長 小口体協会長
- 優勝杯返還 前年度の団体競技、優勝チームより、優勝杯が岩波大会会長に返還された。
- 祝辞 田畑健介区長 貫井武夫区議会議長 奥山則男競技団体代表
- 来賓紹介 祝電披露 表彰
- 優秀団体、チーム、個人に対し小口会長より、それぞれ表彰楯が授与された。
- 閉会通告 横山教育次長

<p>一 戸 実</p> <p>練馬区谷原 6-15-7 TEL 995-6262</p>	<p>有 賀 昭 郎</p> <p>豊島区千早町 3-12 TEL 951-7670</p>
---	--

昨年は雨だっただけに、今年こそ中大グラウンドでの張切って、準備に入っていたが、梅雨前線のいたづらから二年続きの雨天となり、又も開進二中体育館での開催となった。

晴天の場合、各競技団体代表二〇〇〇人の大行進を中心に、セレモニーの万全を期していただけに、本当に残念だった。

種目では、昨年から少林寺拳法、ゲートボールが加り、今年から、なぎなたが二十七番目の種目として入った。

十七日、午後小雨をうけて、サッカー競技のキックオフで、熱戦の火ぶたがきられた。八月より、水泳、軟式野球、バレーボールと次々に開催、冬のスキー、スケート競技まで行われる。

●昭和五十八年度・表彰

- ・団体(都民大会優勝)
- ・区陸上競技協会(男子)
- ・区陸上競技協会(女子)
- ・区銃剣道連盟
- ・チーム(都民大会優勝)
- ・男子四〇〇米リレーチーム
- ・女子四〇〇米リレーチーム
- ・ローラーホッケーチーム
- ・個人
- 都民大会優勝(一部)
- 陸上一〇〇米 大石光宏
- 陸上走巾跳 松本英敏
- 陸上一〇〇米 徳本隆美
- 陸上八〇〇米 佐久間礼子



喜びの練馬陸協代表選手と役員

- 自転車 布施義憲
- 全日本選手権大会優勝
- ファイギュア 小沢樹里
- ライフル射撃 柳沢義昭
- 都民大会(一部)優勝
- ライフル射撃 上村孝明
- ライフル射撃 横山茂樹
- 柔道 滝島浩一
- 国際大会
- 柔道(世界学生優勝)
- 柔道(国際柔道大会・優勝)
- 赤星陽治
- 中村義博
- 以上、団体三・チーム三
- 個人十二名

都民体育大会

男女総合優勝

祝賀会

練馬陸上競技協会
第三十六回都民体育大会陸上競技大会に大会史上初の男女総合優勝を祝って、六月二十五日午後六時から、はま松会館において祝賀会が盛大に開られた。

天野理事長の開会のごときは、中島会長の挨拶があり、来賓の田畑区長(代中副助役) 貫井区議会議長、岩波教育長(代常定庶務課長) 奥山体協副会長、渡辺都陸協副会長より、「快挙の祝福と今後一層の努力進展を期待する」と祝辞があり奥田体協副会長の乾杯の音どにより祝宴となる。篠原副理事長より選手への紹介、陸連関係者等より激励のことはをいたさき盛会のうちに五十嵐副会長のしめにより、わざわざあいあいのうちに会を閉じた。

練馬区スキー選手権大会

四月十八日
新潟県六日町スキー場
主催 区スキー協会
区体育協会
競技 大回輪
男子一部(二五才以下)
優勝 宮崎 浩

株式会社 豊 島 園

練馬区向山3-25-1 TEL 990-3131



合同研修会

- | | | |
|---------------|----|-------|
| 男子二部 (二六~三五才) | 優勝 | 高見沢尚代 |
| 男子三部 (三六~四五才) | 優勝 | 中沢 恵二 |
| 男子四部 (四六才以上) | 優勝 | 梅沢 進 |
| 女子一部 (二五才以下) | 優勝 | 中庭 信夫 |
| 女子二部 (二六~三五才) | 優勝 | 板橋 敏子 |
| 女子三部 (三六~四五才) | 優勝 | 大津 漕子 |
| 女子四部 (四六才以上) | 優勝 | 青木 豊子 |

第八回団体協幹部
加盟団体会長会

合同研修会

今年度は団体幹部研修会と会長会との合同で六月十一日、十二日、区立網代荘に於て開催した。

午後四時、加盟団体は、大広間で第三十六回区民体育大会をテーマとし、第二回実行委員会を兼ねて行われた。

進行 本間事業部長
座長 天野総務部長
会長会

小口会長の挨拶の後、野口理事長が座長となり、五十八年度総会資料の説明、都民大会の成績報告、体協法人化についての計

第九回 練馬区剣道大会

画内容の説明等が行われた。午後六時懇親会
小口政雄会長の挨拶
岩波三郎教育長の挨拶
榎本松次副会長の乾盃
に始まり、二時間半、全競技団体役員、団体の各会長の交流の場は、和気あいあいの中に終了した。中間で、新加盟の区なきなた連盟 会長に就任した。
松崎彰十氏(前医師会会長)の紹介、並に挨拶が行われた。

主催 区剣道連盟
後援 区教育委員会
区体育協会

昭和五十八年五月二十二日

区総合体育館

成績

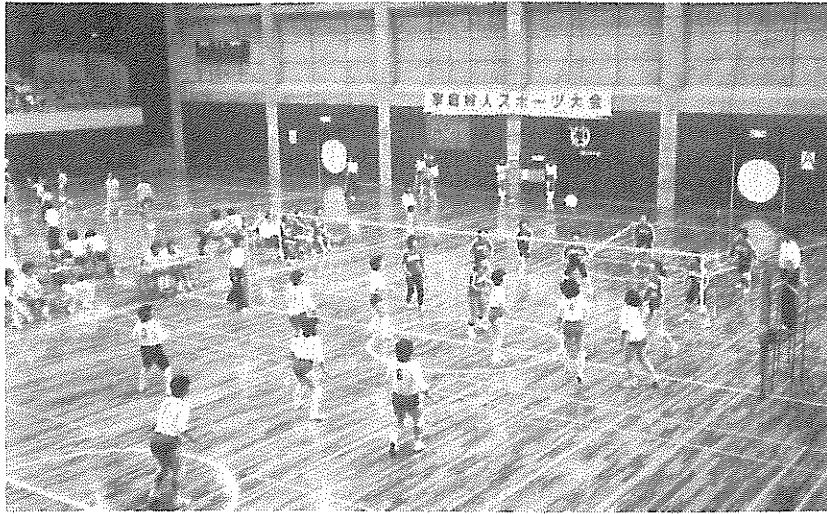
- 。小学生四年以下
- | | |
|---------|--------|
| 1. 高橋秀幸 | 東松館 |
| 2. 鈴木厚美 | 富士見台剣友 |
| 3. 鶴浦 敏 | さかえ教室 |
- 鶴田佳久 大泉剣友会

- 。小学生五・六年
- | | |
|----------|-------|
| 1. 猪瀬 哲 | 東松館 |
| 2. 丸山 直弘 | 東松館 |
| 3. 大沼 大 | 大泉剣児会 |
- 茗荷由美子 東松館
- 。中学生
- | | |
|---------|--------|
| 1. 波平 毅 | 開進剣友会 |
| 2. 青木宏泰 | 大泉第四道場 |
| 3. 扇 隆浩 | 大泉第四道場 |
- 山崎 修 大泉第四道場
- 。一般三段以下

株 式 会 社 豊 島 園

〒 練馬区向山3-25-1

TEL 990-3131



家庭婦人バレーボール大会

- 1. 坂口 耕史 橋戸剣道団
- 2. 榎下三紀雄 東松館
- 3. 小林 建夫 東松館
- 田中 克典 石神井剣友会
- 一般四・五段
- 1. 滝沢 三郎 練武館
- 2. 長沢 乾夫 石東富士
- 3. 鳴滝 宏治 大泉第四道場
- 小林 喜昭 石神井剣友会
- 団体少年
- 1. 東松館
- 2. さかえ剣道教室
- 3. 丸山剣友会
- 東大泉剣友会
- 団体一般
- 1. 練馬修道館
- 2. 石神井剣友会
- 3. 練馬警察B
- 練馬剣友会
- 出場選手 六五七名

第十六回家庭婦人バレーボール大会

クラブ優勝・芙蓉クラブ

P T A 優勝・大泉東小

日程 六月 十四日・十九日

二十一日・二十六日

決勝

大泉小 2-1 大泉小

◎クラブ(四十三チーム参加)

準々決勝

中村ク 2-0 泉同好会

練馬ク 2-0 KVC

芙蓉ク 2-0 すみれ

あさみ 2-0 小竹ク

準決勝

練馬ク 2-0 中村ク

芙蓉ク 2-1 あさみ

決勝

芙蓉ク 2-0 練馬ク

◎P T A(十六チーム参加)

準々決勝

大泉小 2-1 南町小

向山小 2-0 練二小

大原小 2-0 学園桜小

下石小 2-0 練三小

準決勝

大泉小 2-1 向山小

大泉小 2-0 下石小

第一回家庭婦人バドミントン大会

主催 練馬区教育委員会

昭和五十八年六月九日

区立総合体育館

二部 三十五組

1. 石井、抜田組

2. 曾根、桜井組

3. 水井、吉田組

三部 三十九組

1. 高嶋、寺本組

2. 波野、鈴木組

3. 橋本、飯田組

皿田、森下組

成績

一部 二十一組

1. 松尾、和田組

2. 牛久、相川組

3. 浅井、大野組

山口、伊藤組

深 澤 建 設 株 式 会 社

〒 177 練馬区石神井台 3 - 16 - 17

TEL 997-3231

第三十二回城北五区親善柔道大会

練馬区、十八回目の優勝を飾る

主催 五区教育委員会・柔道会

六月十二日(日)区総合体育館

成績

○少年の部

準決勝

北区 4 - 3 練馬区

○青年の部

準決勝

練馬区 6 - 2 荒川区

決勝

練馬区 6 - 4 板橋区

八木 引分け

成島 合せ技

第四回スポーツ少年団・パドミントン大会

七月二十三日(土)

区総合体育館・参加一八〇名

四年男子の部

1 石綿 昌平(石台)

2 田熊 泰行(下石)

3 小船 雅義(開一)

四年女子の部

1 白川 美和(北町西)

2 久保田 愛(豊玉スポ少)

3 長谷川久美(北町西小)

五年男子の部

1 高田 真哉(石台)

2 千葉 貴(八坂)

3 小船 裕司(開一)

清水慎太郎(石台)

五年女子の部

1 北川 佳美(石台)

2 小出ひかり(上北)

3 広坂 晶子(石台)

中村千佳子(上北)

六年男子の部

1 石井 暢(石台)

2 巽野 栄一(中村)

3 土田 武男(南町)

佐藤 寛(関北)

六年女子の部

1 末原 朱(上北)

2 都築 美保(上北)

3 川合 亜代(上北)

高見真理子(上北)

東京都スポーツ少年団本部
軟式野球・Aブロック予選会

練馬代表同志で決勝戦
H・K・アトムズが優勝

スポーツ少年団・競技別交流競技会の一環として行われている、軟式野球競技の第一予選ともいえる都Aブロック大会が足立区で、五区代表、十チームが参加して行われた。

六月五日・十九日

Aブロック

桜台サンバードは一回戦で、葛飾代表を、二回戦で北区、準決勝で足立区代表を敗り決勝へ進出した。

六月二十六日・開進第二中

練馬同士の決勝戦は、HKAアトムズが、3 - 0で桜台サンバードを敗り、東京代表決定戦に進出をきめた。

進出。

もう一つの代表、HKAアトムズは、二回戦で足立代表を、準決勝で、葛飾代表を一蹴し決勝へ進出した。

出た。

Bブロック

もう一つの代表、HKAアトムズは、二回戦で足立代表を、準決勝で、葛飾代表を一蹴し決勝へ進出した。

出た。

Bブロックの代表チーム・目黒

D町田スポーツ少年団

決勝戦

Bブロックの代表チーム・目黒

D町田スポーツ少年団

決勝戦

Bブロックの代表チーム・目黒

D町田スポーツ少年団

決勝戦

Bブロックの代表チーム・目黒

D町田スポーツ少年団

決勝戦

Bブロックの代表チーム・目黒

東京都代表・練馬
H・K・アトムズ

・練馬区春日町一―二五―一六
・責任者 金田司朗
・役員

球団長 内田仙太郎
会長 篠田喜美子
部長 北原 武利
監督 金田 司朗

・選手

斎藤 健司 練馬東小

篠田 浩司

仲岡 貴行

秋山 義隆

沢田 拓人

文津 和英

山福 潤孝

高橋 一徳

吉原 和幸

拓植 蒙太 高松小

金子 慎哉 早宮小

楯 和彦

鈴木万寿夫

チーム名の日は早宮、Kは春日町で編成地区を表わしている。

過去の戦歴は、区教育委員会主催の少年軟式野球大会(練馬地区・石原地区)で昭和五十年に第三位五十一年に準優勝に輝く戦歴をもつ名門チームである。

東京都練馬区中村北一―九
練馬区体育協会
代表 小口 政雄
編集 野口 嘉郎
Tel 九九三―二二―二七七三

ヤングホークスがCブロック代表を破り決勝に進出した。

試合は、前半両チームともややかたくなり無得点、六回HKAアトムズの打撃爆発、敵失に乗じ一気に七点の大量点をあげ、勝敗をきめ、見事に東京都代表の栄冠を獲得した。

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
練馬	0	0	0	0	0	7	1	8
目黒	0	0	0	0	0	0	0	0